

# キャリア形成プログラム

(小児科学教室)

取得を目指す専門医資格

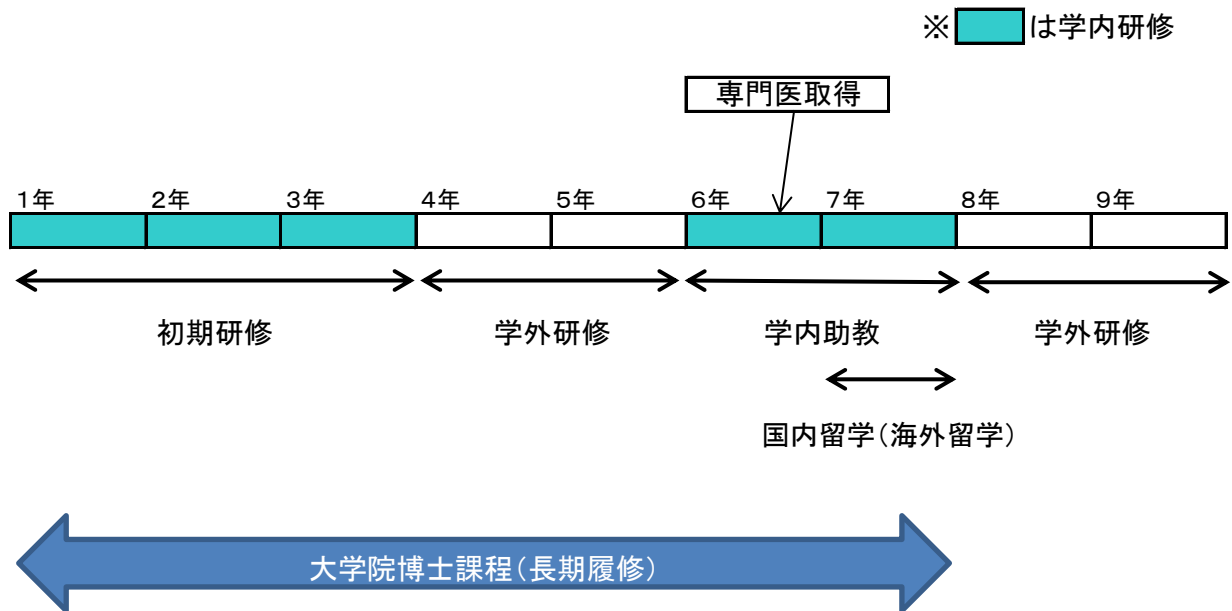
小児科専門医

## 【コースの概要】

### 全体像

卒後9年目までに小児科専門医、小児科専門分野専門医が取得できます。  
卒後3-5年目は学内外で新生児医療を含めた小児科全般について研修します。小児科専門医には小児科の全分野を通じた症例経験が求められますが、この期間中に確実な臨床経験を詰めるよう配慮します。その後、卒後6年目の年度中に小児科専門医が取得できます。  
卒後6、7年目は各人が希望する専門分野の研修、研究を行います。この期間中は各人が希望する臨床、研究施設への国内留学(場合により海外留学)も可能です。  
卒後8、9年目は学外研修を行います。その後、小児科専門分野専門医を取得します。  
学位を希望する場合はいずれの時期からでも大学院に入学可能です。その場合は責任をもって研究や論文の作成を指導し、医学博士が取得できるように支援します。  
プログラム終了後は大学教員として臨床、研究をおこないます。また、希望により県内公的病院の医長としての就職も支援します。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



※国内留学先は各人が希望する専門分野に応じて決定する。

## 指導体制

### ・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
○	紀南病院	小児科	5	3	3
○	公立那賀病院	小児科	3	3	1
○	国保日高総合病院	小児科	2	0	2
○	和歌山ろうさい病院	小児科	4	3	1
○	橋本市民病院	小児科	2	2	1

### ・専門医について

<b>学 会 名</b>	日本小児科学会
<b>資 格 要 件</b>	<p>医師免許            2年間の卒後臨床研修            小児科臨床研修を3年以上            研修症例要約提出(小児科全分野:下記)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 遺伝疾患, 染色体異常, 先天奇形</li> <li>(2) 栄養障害, 代謝性疾患, 消化器</li> <li>(3) 先天代謝異常, 内分泌疾患</li> <li>(4) 免疫異常, 膠原病, リウマチ性疾患, 感染症</li> <li>(5) 新生児疾患</li> <li>(6) 呼吸器疾患, アレルギー</li> <li>(7) 循環器疾患</li> <li>(8) 血液疾患, 腫瘍</li> <li>(9) 腎・泌尿器疾患, 生殖器疾患</li> <li>(10) 神経・筋疾患, 精神疾患(精神・行動異常), 心身症</li> </ol>